

2015 年第 4 回日本地球化学会評議員会(引き継ぎ評議員会) 議事録

日時:2015 年 9 月 18 日(金)12:10-13:00

場所:横浜国立大学教育人間科学部講義棟 7-309

出席者:川幡会長\*、山本副会長、野尻副会長\*、塚本\*、平田\*、鍵\*、原田、寺田、石橋\*、川口、南、日高、奈良岡\*、鈴木\*、藪田\*、小畑、角皆、益田、山岡\*の各評議員、井上、谷水、谷本、吉田、橋、下田、張、中川、高橋、小木曾の各次期評議員、清水監事\*(オブザーバー参加)

欠席者:折橋、佐野、岩森、大河内、の各評議員、丸岡、三村、山本(順)の各次期評議員

(\*次期も引き続き役員または評議員)

1. 次期評議員への引き継ぎ事項について

1.1. 今期評議員会の活動内容

川幡会長から、今期の総括がなされた。今期初めての試みであったメンター交流会については、来年以降も引き続き開催することが確認された。また、懇親会において、命名基金に 1 件の申し出があったこと、サポート基金に 33 名の方から計 83,000 円の寄付があったことが報告され、野尻副会長に規則の策定を急いでもらうよう要請があった。

1.2. 前期(2012-2013 年度)評議員会からの申し送り事項  
別紙を参照。

1.3. 次期(2016-2017 年度)評議員会への申し送り事項  
別紙を参照。

1.4. 意見・提案

1) 大型研究計画に向けた学会内研究公募の進捗について質問があった。これに対し、高橋 TF リーダーと川幡会長から発言があった。特に、川幡会長から、昨年末に採択された研究計画については大阪大学と連携し、大阪大学が主となってマスタープラン 2017 に提案することになった旨、報告があった。また、今後新たな提案をする際には、学会単位ではなく、複数学会が連携して研究計画を作成し、提案する必要があるだろうという意見が出された。

2) 年会の参加申し込みの際に、会員であることを確認するため、会員番号を入力するようにしたほうが良いという意見があり、次期評議員会への申し送り事項に追加された。

(庶務幹事・山岡香子)

2012-2013 年度評議員会からの申し送り事項とその対応

2015.9.18.

2014-2015 年度評議員会

1. Geochemical Society((米国)地球化学会)、European Association of Geochemistry(欧州地球化学連合)、Chinese Society of Mineralogy, Petrology and Geochemistry(中国鉱物岩石地球化学会)との MOU をもとに、具体的な国際的交流を通して会の活動をより一層活性化して欲しい。  
→ 国際委員会(TF4)を設置した。GSJ-GS ワークショップを開催した。第 1 回、第 2 回日中シンポジウム開催し、今後も定期的に開催することとした。
2. IAGC(国際地球化学連合)、アジア・オセアニアの地球化学会との連携を強化し、MOU を結ぶよう努力して欲しい。  
→ 韓国地質学会との MOU 締結も含めて、次期に期待する。
3. Goldschmidt Conference において GS、EAG に次ぐ第 3 番目の Principal Co-sponsor という本学会の立場に変わりがないことを確認し、GJ 賞の授賞式・受賞講演、ブース展示、参加登録費の割引を継続して欲しい。Goldschmidt Conference の Co-convenor に地球化学会会員が積極的に立候補するよう働きかけて欲しい。  
→ 上記すべてを実施、達成した。
4. Goldschmidt Conference 2014 時に GS Board member として日本地球化学会より一名を選出する。そのメンバーは The Goldschmidt Forum の委員としても機能するので積極的に要請を受けてほしい。  
→ GS Board member に益田晴恵委員を推薦した。
5. Goldschmidt Conference 2016 の成功に向けて日本地球化学会は準備委員会のコアメンバーを選出した。準備委員会および将来組織される組織委員会(LOC)はその活動予定を地球化学会に諮り、評議員会で決定する。素早い活動が必要な場合は事後承諾でも良いものとする。このように本会の責任の下で、LOC がスムーズに活動できるようにしてほしい。  
→ 日本地球化学会の責任の下で LOC がスムーズに活動できるようになっている。
6. Geochemical Journal および和文誌「地球化学」の将来的展望を引き続き議論する場を設定し、会員への利便供与についても十分議論し、論文誌としての発展を期して欲しい。  
→ 次期も特に学会の財政、会員への利便供与などの観点より十分議論してほしい。
7. 日本地球惑星科学連合、日本化学連合との関係を短期・長期的視点で適宜見直し、地球化学会のプレゼンスを高めて欲しい。  
→ 日本地球惑星科学連合との関係は強化してきた。日本化学連合については関係を継続してきたが、次期で見直しをお願いしたい。
8. 幹事会の構成と各幹事の役割分担について見直しを行ってほしい。  
→ ニュース幹事を廃止し、会員が直接投稿できるようにした。新たに総務幹事を設置した。庶務幹事が担当していた業務の一部を国際文献に受託する、学会賞・鳥居基金の申請書類を電子メールで受付するなど、負担軽減を達成した。
9. 大型研究計画や 2040 年に至る研究の夢ロードマップなどについて継続的に議論し、より良い提案をしてほしい。  
→ TF1, 2, 3 を設置し、議論をとりまとめた。

## 2016-2017 年度評議員会への申し送り事項

2015.9.18.

2014-2015 年度評議員会

1. Goldschmidt conference 2016: Goldschmidt conference については、日本地球化学会の責任の下で、LOC がスムーズに活動できるようになっています。2016 年の Goldschmidt conference 横浜は本番なので、サポートよろしく願いいたします。
2. 「将来の地球化学会を描く」を目的に、3 つのタスクフォース (TF1、TF2、TF3) が設置されました。TF1 では、日本地球化学会の会員が所属する大学・研究所・事業所などのリンクをまとめ、地球化学に関連する研究機関の情報をより効率的に得られるようにしました。TF2 では、日本地球化学会の短中期的な研究 (教育) 展開を取りまとめ、大型研究などの提案に向けて準備を行いました。地球惑星科学のコミュニティのコンセンサスを得ながら、大型の研究費の配分を進めるとい政府の方針はますます顕著となると考えられますので、引き続き対応をお願いいたします。
3. TF3 では、日本地球化学会の中長期的な研究 (教育) 展開を取りまとめ、「30 年後 (2040 年) の夢ロードマップ」を策定することになりました。現在、第一次案は作成できたので、コミュニティのコメントもいれて、プロ用および一般用についてバージョンアップをお願いいたします。
4. Goldschmidt conference 横浜を成功させ、将来 Goldschmidt conference を再び日本で開催するためにも、Geochemical Society ((米国) 地球化学会)、European Association of Geochemistry (欧州地球化学連合)、Chinese Society of Mineralogy, Petrology and Geochemistry (中国鉱物岩石地球化学会) との MOU に基づく国際交流を一層深めてほしいと思います。TF4 を中心として、ノウハウの蓄積、人的交流の幅と厚みについても発展させていただければと思います。
5. Goldschmidt conference 横浜の後の財政処理も兼ねて、TF5 を中心として法人化の検討をお願いいたします。
6. 法人化と関連して、年会の開催方式についても議論してほしいと思います。会員確認のため、年会参加申し込みの際に、会員番号を記入するようにしてもらいたいと思います。
7. 「IAGC (国際地球化学連合)、アジア・オセアニアの地球化学会との連携を強化し、MOU を結ぶよう努力して欲しい」との前期評議員会からの要請には、今期は十分応えられませんでした。韓国地質学会との MOU 締結も含めて、MOU を結ぶよう努力して欲しいと思います。
8. 2015 年後期に科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) の中間評価が予定されています。2 年後には 2 回目の研究成果公開促進費の募集があると予想されます。その時の目玉などを想定し、あらかじめ準備・実行しておくことは重要かもしれません。ご検討よろしく願いいたします。
9. Geochemical Journal および和文誌「地球化学」の将来的展望について、特に学会の財政、会員への利便供与などの観点より十分議論してほしいと思います。
10. 公益社団法人日本地球惑星科学連合については、関係を強化してきました。日本化学連合については関係を継続してきましたが、次期では見直しをお願いしたいと思います。今後とも両連合について情報を集めつつ、日本地球化学会のプレゼンスを高めるために十分議論してほしいと思います。
11. 特定の目的のために時限とした TF1~5 を設置しましたが、幹事会の構成と各幹事の役割分担とも併せて、必要に応じて整理してください。